

平成23年11月29日(火)9号

発行 熊本市立 中島小学校

熊本市中島町538番地 電話329-7120 fax311-4065

子どもたちに「生きる力」を

木曜からいよいよ12月、師走になります。平成23年もあと1か月です。12月は2学期の学習のまとめとともに子どもたちの更なる学力充実に努めてまいります。

ところで、タイの洪水やギリシャ発の経済危機の影響で日本の将来に不安を感じる今日この頃ですが、よく使われる子どもに将来生きる知恵を身につけることの大切さのたとえ話があります。狩りができず空腹に苦しむ2頭の子どものライオンの話です。

空腹のライオンを天から見ていた神様が哀れに思い「一つだけ願いを叶えてやろう」とライオンに言いました。ライオンの一頭はカモシカの肉を腹一杯食べたいと言いました。神様はこのライオンにカモシカの大きな肉を与えました。もう一頭のライオンは、「私は上手にカモシカを狩ることが出来る知恵を下さい」と言ったそうです。もらった肉を食べてしまっただけで空腹になったライオンと、広い草原にたくさんいるカモシカの狩りの仕方を覚えたライオンのこの話は、物を子どもに与えてもそれっきりですが考える知恵が身につけば一生ずっと自分の力で生きていけるという教訓として良く語られます。



生まれたばかりの赤ちゃんは、一人では生きていけません。何から何まで、親(保護者)から世話してもらって成長を始めます。そして、小学校、中学校と知識と知恵を身につけやがて親から離れ一人立ちしていきます。

今、中島小学校では基礎となる知識をしっかり身につけさせ、その上で自ら学び自ら考える力の育成に努めています。この力こそがこれからの変化の激しい社会を生きていく「生きる力」だからです。学校教育と家庭教育が車の両輪のごとく協力して、子どもたちが親(保護者)の保護から離れても、一人で生き抜く力、自ら学び自ら考える力を一步一步階段を上るように各学年の進級と共に確実に身につけさせてやらねばならないと思っています。

さて、12月9日(金)は2学期最後の授業参観と学級懇談会です。この2学期に成長した子どもたちの学習の様子をご覧いただき、皆様からお話を伺いたいと思います。多数の皆様のお越しをお待ちしております。

12月「人権月間」の取組

人は誰もが幸せに生きていきたいと思います。同時に家族や友達など周りの人々の幸せも願っています。この願いを叶えるためには人権が守られなければなりません。人権とは全ての人々が生まれながらに持っている、人間らしく生きていくために必要な誰からも侵されることのない基本的な権利です。

中島小では12月1日から「人権月間」として子どもたち職員はもとより、保護者の皆さまにも人権問題についての理解と認識を深めていただく取組を行います。

11月には教育相談旬間として、担任が子どもたち一人一人から学校生活の悩みや気持ちを聞き取る教育相談を、朝自習や業間の時間を利用して行いました。そして授業の中では、学級活動や道徳で学級の課題を明らかにし、人権に関する学習を行います。この各学級での学習をもとにして友達や仲間を尊重し合い、そして自分をより大切にしようとする気持ちを高めるために12月13日(火)には熊本市議会議員で元マラソンランナーの松野明美さんをお迎えして人権集会(ハートフル講演会)を行う予定です。人権集会は体育館で、10中島小学校教育目標 豊かな心とたくましい体を持ち

時30分~11時30分に行います。保護者の皆様も、ご都合がつかれる方はぜひお越しください。

自転車乗車時のヘルメット着用

校区内の道路は道幅が狭く、交通事故がいつ起きても不思議ではない環境で子どもたちは生活しています。学校では安全指導を継続して行っていますが、ご家庭におきましても、機会を捉えて安全な歩き方、自転車の乗り方についてご指導ください。平成20年度道路交通法「児童・幼児の自転車乗車時のヘルメット着用努力義務」の法改正で、保護者の義務として子どもが自転車に乗るときはヘルメットを着用させなくてはならなくなりました。お子さんの命を守るために自転車に乗るときは「ヘルメットをかぶりなさい!」の一声を、よろしくお願いします。

5,6年生「こころのノート」に掲載してある母親の手記をご紹介します。

むすめへ

今、何をしていますか。さびしくないですか。ごめん、お母さんは精一杯元気ですが、あなたの妹のいないところでこっそり泣いています。あなたが生まれたのは3月12日だったね。とてもきれいな赤ちゃんだった。知らない人にも声をかけられた。次の年に、妹が生まれました。二人はいつもけんかしてたけど、仲良かったよね。妹が一番頼りにしていたのはあなただったのよ。可愛い顔をしていて、外で遊ぶのが大好きな女の子に成長して、男の子も女の子も関係なく仲良くしていたあなたが、とてもまぶしく、うらやましかった。小学5年生になると、少しずつ女らしくなってきたよね。お母さんとってもうれしかった。だけど、去年の7月ピアノ教室へ向かうため自転車で坂を下りてきたあなたは、トラックにひかれて死んでしまった。ごめんね。一人で逝かせて、つらい思いをさせたね。あなたがいなくなって、なにをしていいのかわからなくなった。今も手探り。あなた知っていますか。お母さんは、いつもあなたの寝顔を見て「お母さんより、先に死なないでね。」ってお願いしていたのを...

11月の行事から

中島教育の日(自由授業参観)11/1(火)

11月1日(火)に「中島教育の日」と銘打って午前中自由参観を行いました。当日は、地域の方も含めて多くの保護者の皆様方に普段の子どもたちの学習の様子をご覧いただきました。参観アンケートにはほとんどの方が「自分の都合の良い時間に参観できるので良かった。」と回答していただきました。また、「兄弟が多いので一人ずつゆっくり参観できて助かった。」「授業に集中して参加してすばらしい。このまま素直に成長してほしい。」などの回答がありました。ありがとうございました。



マインドハーモニーコンサート11/3(木)

11月3日(木)文化の日に、県立劇場でわれたマインドハーモニーコンサート(障害者音楽祭)に4年生が出演しました。コンサートでは、ゆたか学園のみなさんと中島小の子どもたちがこれまで20年間にわたって「桃太郎」「三匹の子豚」「白雪姫」「かさこ地藏」など演じてきた音楽劇のハイライトを披露してくれました。県立劇場の演劇ホールの大舞台上で、堂々と音楽劇を演じたゆたか学園のみなさんと4年生の子どもたちに観客席から大きな拍手が送られました。



稲刈り11/4（金）

6月に学校の前の田んぼに田植えをしていましたが、11月4日（金）に2年生と5年生で稲刈りをしました。子どもたちは、PTA愛護委員長の作元さんはじめ愛護委員のお父さんお母さんから稲刈りの仕方を教えてもらいながら、稲刈り体験をしました。

2年生は初めての体験ですので黄金色に色づいた稲を、鎌で手を切らないように用心しながら刈り取っていきま



した。大半はコンバインで刈って頂いたので、1時間半くらいですべて刈り取ることができました。もち米が約800kgほど収穫できましたが、一部は販売して残りは12月3日（土）のPTAもちつきで使う予定です。

小体連陸上大会11/12（土）



熊本市内小学校45校から4年生以上代表約1400人が参加して、小体連陸上大会が水前寺陸上競技場で行われました。中島小からは4年生15人、5年生18人、6年生12人が参加しました。

大会は市内各校から選抜された代表選手のみが参加し、陸上競技の正式規則で他校の選手と競い合うことでレベルの高い大会となりました。競技の結果、中島小学校から以下の4人が入賞しました。

6年生男子800m	なおきくん	2分28秒30	2位
6年生女子走り幅跳び	ひろさん	3m93cm	2位
5年生男子ソフトボール投げ	ともやくん	54m90cm	4位
5年生男子100m	ひろきくん	14秒92	6位

入賞こそできませんでしたが、参加したすべての子どもたちが美しいタータントラックの陸上競技公認コースで全力を出して走り、跳び、投げ、自己記録を更新することができました。朝早くから学校にきて練習をした成果が、結果として表れました。みんな、よく頑張りました。

修学旅行に行ってきました。11/15,16



11月15日、16日の二日間6年生36人が心待ちにしていた修学旅行に行ってきました。1日目に長崎原爆資料館、永井博士の如己堂、浦上天主堂、平和公園を、2日目には佐賀宇宙科学館、長崎バイオパークを見学してきました。

平和祈念公園では平和集会を行い、全員で被爆された犠牲者に対し黙祷をし今後の平和と不戦の誓いをしました。二日間の旅行で科学、文化遺産、戦争の歴史等を自分の目でしっかり確かめてきました。見聞を広めると共に、小学校時代の1番の忘れられない思い出ができた事と思います

3年生が味噌づくりに挑戦

3年生はJA婦人部のみなさんの協力を得て、11月15日から総合的な学習の時間を利用して学校の近くのJA中島加工場に通り味噌づくりに挑戦しています。この3年生の味噌造りは、11月24日のNHKテレビでも放送されました。

農協から1万円の補助金をいただき、総量160kgの大きな味噌づくり体験です。味噌づくりは、蒸した小麦にこうじ菌を混ぜ、何度もかき混ぜなければなりません。そして煮た大豆と併せてミンチにかけ桶に入れて2ヶ月熟成させます。今から2ヶ月後のできあがりを楽しみます。

3年生の子どもたちは普段食べている味噌汁の味噌を作るには、こんなに大変だということをもっと体験しました。

歴史閑話 四百年前の話から

江戸幕府を築いた徳川家康は、幼いときから大変な苦勞をして将軍になっています。六才の時、徳川家康（幼名：松平竹千代）は戦国大名今川義元の人質でした。戦国時代の人質とは、約束を守って戦を起こさない忠誠の証として跡継ぎの子どもを相手方に預けることです。人質として家康を預かった今川義元は幼いながらも家康の才能を見抜き、将来自分にとって脅威になることをおそれて、徹底的に「甘やかせ」と、次のように家臣に命じたそうです。

- 夏は思い切り涼しく、冬は思い切り暖かくすごさせよ
- 美味しいもの、甘いもの、食べたいというものは何でも好きなだけ食べさせてやれ。
- きついことはさせるな。言うことはわがままであっても何でも聞いてやれ。

「竹千代を徹底して甘やかせ。甘やかして育てれば人間はだめになるはず。人質であるから痛めつけることはできない、甘やかして育て、徳川家を滅ぼすのだ。」と。

試 練を与えて人を育てる、逆のことわざに「かわいい子には旅をさせよ」という言葉がありますが、甘やかしたら子どもは弱くなり、試練を与えると強い子に育つのは確かなようです。

中島小の子どもたちを毎朝校門で迎え、生活の様子を眺めています。みんなとても元気です。あいさつがきちんとできます。しかし、新聞・TV等で報道される信じがたい少年犯罪を見聞きするとつい、この今川義元の甘やかし教育を思い浮かべてしまいます。子どもの言いなりの甘やかした子育ての「つけ」は大人になる前に必ず現れます。子どもをたくましく育てるには、優しさと厳しさのバランスのとれた子育てが肝要です。社会問題になっている、若者の規範意識や感性の欠如、そしてすぐ切れる、がまんができない、自分中心、体力低下、自己表現力不足、社会人になっても続く引きこもりやニートと呼ばれる若者が増加しているのは、子どもの頃の育ちが影響していると思います。

このような日本の状況を見ていると、社会全体の傾向として今川義元の「人をだめにする甘やかし」が、四百年後の現在でも行われているような気がします。

12月の主な行事等の予定

- 1日（木）連合音楽会（崇城ホール4年生出場）
- 3日（土）PTA行事もちつき
- 5日（月）ALT来校・漢字・算数大会週間始まり
- 6日（火）生活集会・クラブ
- 9日（金）授業参観・学級懇談
- 12日（月）校内持久走大会週間始まり
- 13日（火）人権集会
- 22日（木）2学期終業式（給食有り）



12/23～1/9まで冬休み h24.1/10（火）3学期始業式